

## ◆政府 子ども・子育て会議基準検討部会

## 子ども・子育て会議基準検討部会(第4回会合)が開催される

平成25年8月29日(木)、政府の子ども・子育て会議基準検討部会第4回会合が開催され、全日私幼連から【北條泰雅】副会長が出席しました。当日は議事次第より①小規模保育事業②幼保連携型認定こども園の認可基準③地域子ども・子育て支援事業について説明と審議が行われました。

会議の冒頭に森まさこ少子化対策担当大臣が出席され「7月26日に開催された、子ども・子育て会議において基本指針がとりまとめられました。すべての自治体で新制度が円滑に実施されるように、少子化対策の幅広い取り組みと財源確保に努めます。委員の皆さまにおいては、子どもの最善の利益が実現されるように引き続きご支援ご協力をお願いします」と挨拶をしました。

議題に入り、北條委員は「初回の会議から申し上げていますが、本連合会は民主党政権下の子ども・子育て関連3法には反対の立場でした。3党合意後に、総合こども園法は廃案となり議員修正が行われ3法が成立した。小規模保育事業は基本的に賛成のため進めていただいていた構ですが、新幼保連携型認定こども園の認可基準については大変重要な内容があり、議論に時間をかける必要がある。新幼保連携型認定こども園の認可基準は、幼稚園と保育所の基準の高い方の基準を適用する原則がある。基準を上げる議論をするのならよいが、既存の幼稚園や保育所からの移行について特例を設けて水準を下げることは、子どもの最善の利益に反し、あってはならない。」と発言しました。

## ◎その他の主な意見

【宮下委員】幼保連携型認定こども園の認可基準について、総論の中に質を下げないことが多

く盛り込まれたことを評価するとともに、今後もこの方向で進めていただきたい。

【荒木委員】 幼保連携型認定こども園の認可基準について、高い水準の確保について賛成。基準に特例を設ける場合、現在の幼保連携型認定こども園の基準の特例を下回らないようにすべき。

【清原委員】 高い水準の基準をめざすことに賛成であり、基準と密接に関連する公定価格の内容も示しながら検討したい。また、経過措置や特例については、新設する際の高い基準を目指しつつ、既存の幼稚園や保育所からの移行の場合の考え方を示すことは望ましいが、その場合にも質を下げない方向で考えていきたい。

【秋田委員】 小規模保育事業のコンセプトについて、使い勝手がよい、安心して預けられるというのは親の都合の視点である。乳幼児期の子どもの健やかな保育を保証できる場があるということを含めていただきたい。

[今号は2枚]

---

※都道府県団体におかれましては、お手数ですが本紙を加盟園へご伝達くださいますようお願い申し上げます。

※子ども・子育て会議に関しましてご意見がありましたら全日私幼連宛にFAX またはメールでお寄せください。

FAX : 03-3263-7038 メール : info@youchien.com

※子ども子育て会議の資料は下記URLからダウンロードできます。

内閣府HP [http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/kodomo\\_kosodate/index.html](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/kodomo_kosodate/index.html)